

観光振興 調査特別委員会

四月二十三日開催

佐賀市観光アクションプランの中の「幕末などの歴史・物語を活かした観光商品開発」の取り組みの方向性について

〔質問〕佐賀市観光アクションプランの中の「幕末などの歴史・物語を活かした観

光商品開発」についての具体的な進め方は、どう考えているのか。

〔答弁〕ことし六月頃から素材等の確認整理に入り、その後、具体的に検討していきたいと考えている。

〔質問〕鹿兒島や高知は、西郷隆盛や坂本龍馬など核となる人物が一人いて、それを取り巻く群像として観光商品開発をしている。佐賀の七賢人すべてをいっぺん

に売り込むと焦点が定まらないと思うがどう考えるのか。

〔答弁〕誰かに絞り込んでいくのか、また集団とするのかも含めて今後検討を進めていきたいと思っている。

〔質問〕世界遺産登録については、アクションプランの中にも「戦略を明確にしてソフトを開発することも関連する整備を行う必要

がある」とあるが、観光商品開発において、この世界遺産登録との絡みをどう考えているのか。

〔答弁〕世界遺産登録を観光にどのようにつなげていくかについても、ことし六月頃から素材等の確認整理の中で打ち合わせを行っていききたい。

今後の進め方、方針などについて

まずは調査研究のテーマを「日本の近代化に貢献した佐賀の人物群」とすることを確認した。

五月十日開催

今後の進め方、方針などについて

テーマを「日本の近代化に貢献した佐賀の人物群」とすると、人物にしか焦点がいかない感じがするので、

「日本の近代化を築いた佐賀藩」とし、そこに「その人物群」などとしたほうがまとまりがよい、との意見があり、改めて検討を行い、テーマを「日本の近代化を築いた佐賀藩とその人物群」と最終決定した。

特別委員会

用・排水対策 調査特別委員会

三月二十九日開催

平成二十二年浸水対策事業等について

〔現地視察〕城東川（馬捨樋門）工事予定地等七カ所を視察した。

〔説明〕平成二十二年年度の浸水対策事業について、三間川放水路の工事箇所は、市道の橋梁部分の工事を予定。地藏川は、護岸工事と橋梁部分の道路等の取りつ

け工事を予定。城東川は、県道のボックスの上下流部分の工事を予定。十間堀川

雨水幹線は護岸工事、用地買収及び建物補償等を行う。

〔意見〕馬捨樋門工事予定箇所は、道路も狭く迂回も困難で工事が難しい。地域説明会では、周辺の一体的な整備まで含めて説明し、地域住民の理解を得ながら進めるべきである。



2号調整池排水ポンプ（兵庫北土地区画内）

五月十七日開催

平成二十二年浸水対策事業等について

〔現地視察〕大島仮設排水ポンプ（計画）等六カ所を視察した。

〔説明〕今年度、浸水対策検討委員会を立ち上げ、佐賀江川にかかる排水の負担軽減や排水河川の整備等に取り組んでいる。

〔質問〕大島仮設排水ポンプが対応できる雨量は、

〔答弁〕今年度は局部的、緊急的な対策で、そのような計算はしていない。今年の雨季に排水効果を検証し、本設置の必要性を検討する。

と市の連携が不十分であったという現場の声を聞いたが、その対応は。〔答弁〕今までは連携がとれていない部分があった。その反省を踏まえ、今年の雨季前には調整会議を行い、情報を共有して取り組む。

〔質問〕大島仮設排水ポンプよりも北側の浸水被害が大きい地域で多布施川に排水できる箇所はないか。

〔答弁〕現在のところ見当たらないが、現地を再確認し、検討したい。

特別委員会

交通政策 調査特別委員会

四月十九日開催

市の公共交通の現状 と課題及びバス利用 実態調査結果につい て

〔執行部からの説明〕「本市の公共交通の現状と課題」として、路線バス及び市の

交通施策である富士町廃止路線代替バス、三瀬コミュニティバス及び松梅地区バスの運行状況とタクシー、福祉有償運送について報告があった。なかでも、バス事業において輸送人員、車両数、走行距離、全てが減少していることから、「利用者の減少を前提とした公共交通の位置づけ」、「企業活動と行政サービスという二律背反性の捉え方」などが大きな課題であるとの説明があった。

次に昨年の十一月からこ

としの一月まで実施された「市北部地域を運行する路線バスの利用実態調査結果」について、一便当たり乗車人数の平均は平日が七・五人、土、日、祝日が五・四人とかなり少ない現状だったが、乗客からは増便の要望が強かったなどの説明があった。

今後の調査について

委員自らが実態を把握するため、独自のバス利用実態調査を実施することを確認。まずは全委員を二つの班に分け、市北部地域の調査を行うこととした。

五月十日、十七日のバス 利用実態調査

富士方面の調査では、路線バス及び廃止路線の代替的な路線バスである松梅地区バスの調査を、三瀬方面の調査では、路線バス及び



委員による利用実態調査

三瀬診療所患者送迎バスと福祉巡回バスを一本化した三瀬コミュニティバスの調査を実施。各バス停における乗降者数、バス停の上屋や椅子の設置状況等を把握した。松梅地区バス及び三瀬コミュニティバスでは、利用が少ない状況を実感したが、ある乗客からは「週に三回利用しているが、高齢で免許を持っていないので、このバスがないと困る」との意見もあった。今後も、市中部、南部地域の調査を進め、市公共交通の核である公共交通の現状把握、課題抽出を行っていく。

視察報告

議会運営委員会

日程 4月26日(月)～28日(水)

①長野県 議会基本条例（主に議会の県政調査権）について

長野県議会では、平成21年10月に議会基本条例が施行されていますが、その策定過程で「県政調査権」を明記することが議論されています。しかし、地方自治法の制約もあり、同法100条第1項に定められた範囲にとどまらざるを得ず、この調査権を明確に打ち出すことはできなかったとのことです。

【所見】

地方自治法の制約で、法律の範囲にとどまらざるを得なかったとのことですが、100条調査権以外でも、法律の範囲内で監査請求や参考人聴取等の「権限を的確に行使する」と定められていて、一歩踏み込んだ内容となっており、今後本市の基本条例改正の際には参考になるものと思われま

②東京都多摩市 議会基本条例（主に議会の主要事業評価制度）について

議会基本条例に「市長が執行した事業等の評価を行わなければならない」、また市長に対しても「議会の評価を予算に十分反映させるよう努めなければならない」と規定されています。現在5段階評価を1次と2次の2回行っており、具体的に数値で評価することにより、執行部に対して適切な予算編成と執行を促すものとなっています。

【所見】

多摩市議会では、平成17年の決算特別委員会から事業評価が行われており、特に平成19年からは評価シートを作成し、評価とコメントの付記を全議員で行っているとのことでした。本市においても委員会での議論が生かされ、また執行部に対して議会の意思を明確に伝える手法として大変参考になりました。



事業評価に使われる決算資料

視察報告

総務委員会 日程 5月19日(水)~21日(金)

①群馬県桐生市 市税のコンビニ及びペイジー収納について



桐生市での視察の様子

納税者の利便性、納期内納付率及び督促状等にかかる経費の節減を図るために、平成20年4月から市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の4税で、コンビニ及びペイジー収納を実施されております。

【所見】

コンビニ及びペイジー収納での納付率は20%を超えており、それだけのニーズが感じられます。佐賀市においてもコンビニの市税収納委託事業が行われるので、納付率は向上すると期待しています。

課題としては、まだ市民に十分な周知がなされていないので、今後も積極的なPRが必要だと思われます。

②千葉県野田市 公契約条例の制定について

市発注工事などの請負業務に従事する労働者の適正な賃金を確保するために、全国初の条例化をされております。一般競争入札の拡大等に伴い、低入札価格を招き、その結果、生じている従事労働者の賃金低下に歯止めをかけるのが目的です。

【所見】

野田市は全国で初めて、市長の決断により、公契約条例を制定しました。労働者の賃金低下を改善し、公平かつ適正な入札を通じて、豊かな地域の社会の実現、適正な労働条件の確保を目的とされています。しかし、一つの自治体で解決できる問題ではなく、国が公契約に速やかな措置を講ずることが不可欠であると考えます。

今後、佐賀市としても全国の動きを注視し、議論していきたいと考えます。

※5 ペイジー収納：金融機関のインターネットバンキング及びATM等から市税等の支払いができるサービス。

文教福祉委員会及び建設環境委員会の視察報告は次号以降に掲載いたします。

佐賀市議会9月定例会のお知らせ 9月2日(木)午前10時開会(予定)

※日程等については、定例会開会前に議会運営委員会で協議され、定例会開会日に正式決定されます。決定次第、市のホームページでお知らせいたします。

編集後記

今年の五月に議会基本条例で定められた議会報告会を開催しました。条文をつくるに当たり各党派で意見の違いが見られ一番苦労したものです。

まずは資料づくりから議員全員で作成し、看板も自前でした。議員を八班に分けて、各中学校単位で説明会を開催しました。私たちも二箇所で開催し、住民の意見をお伺いしましたが、いろいろな意見が出て勉強になりました。

今回の議会だよりにおいては、まだ掲載できるところまでには至っていませんが、次号では掲載できるように頑張っていきたいと思えます。

ただアンケートを見て感じたことは、議会に対してのコメントです。興味がないという意見が多数あり、昨年選挙があったことを考えるともう少し議会を見ていただければという気持ちです。

夕張市が破綻し当時のマスコミは、市長と議会は何をしていたのかという議論が目立ちました。しかしながら市長も議員も市民が選んだものです。市民には責任はないのでしょうか？

市民の皆さんも議会への関心を持っていただけるように、当委員会でも読みやすい紙面づくりをしていきたいと思っています。

(千綿 正明)